



「トピックス」人口減少対策に力を入れます
連載 山梨縣人 定年後も再び教壇に立つ

巻頭特集

おいしい農業

サンシャインレッド

が本格デビュー

フルーツ王国山梨に、赤い宝石と呼ばれるブドウが誕生しました。県が開発したオリジナル新品種「サンシャインレッド」です。口に入れると、マスカット香に加えて華やかな香りが立ち上り、噛めばジュシーな甘みが口いっぱいに広がります。その美味しさを全国に広げようとするやまなしのブランド戦略が始まっています。

「巻頭特集」

おいしい

今年の初値はキロ1万円！

7月上旬、スマートフォンを手にしたJA全農やまなしの担当者が興奮していました。「キロ1万円を超えました！」。品質最高ランクの「特秀」を獲得したハウス栽培のサンシャインレッドが、東京・大田市場の初競りで1キロ当たり1万円超の値が付いたとの知らせが届いたのです。百貨店などでの販売価格は2〜3倍になることもあり、贈答品などでの需要も見込まれます。

大人気のシャインマスカットを



Debut!!

農業

を利用して色づけします。一房にまんべんなく着色させる作業は難しく手間もかかります。しかし、県担当者は「2023年度までに県内のブドウ農家に約1万5000本の苗木を供給しましたが、もっと供給してほしい」と言われています。かなり期待感が大きい」と話します。

生産拡大でブランド化

新たな「山梨ブランド」として全国に認知されるためには、多くの人に食べてもらい、美味しさを理解してもらわなければなりません。そのためには、まとまった量の高

品質なブドウを安定して出荷できる体制を整える必要があります。しかし、ブドウが持つ本来の特性を十分出せるまでには最短でも5〜6年かかるため、これまでは生産量が少なく、地域の直売所など限定されたところでしか販売できませんでした。

そこで県はJA全農やまなしなどと連携してオリジナル品種の生産拡大に取り組む「山梨県オリジナル品種ブランド化推進会議」において、苗木の計画的な配布や栽培の指導などを一括して行うことで早期の産地化を目指しています。

これらの取り組みを継続することで、**昨年3・7トンだった出荷量から、今後は年々増えていくと期待しています。**

生産拡大を進める一方で、こうしたオリジナル品種は、希少価値を保ち、高い価格を維持することも重要で苗木の管理を徹底し栽培を県内に限定する必要があります。苗木を生産者が購入するときに「他の人に譲渡しない」などの取り決めを定めた誓約書を提出してもらい、県外への流出を防いでいます。

全国へのPRがスタート

収穫量の増加とともに、サンシャインレッドのPRが本格的にスタート

サンシャインレッドとは

「シャインマスカット」と山梨県で育成した赤系ブドウ「サニードルチェ」を掛け合わせた、県のオリジナル品種。15年にわたる厳しい選別を繰り返し開発された。2022年1月に品種名「甲斐ベリー7」が品種登録され、2023年8月に「サンシャインレッド」の名称が商標登録された。糖度が19度程度と高く、種なしで皮ごと食べられるのも特徴。



もっと読む
HIGH QUALITY
YAMANASHI

超えたい——。そんな思いから誕生した「サンシャインレッド」は鮮やかな赤色が目を引く、山梨オリジナルの新品種です。

食味も香りもいいとあって、2022年に初めてふるさと納税の返礼品として取り扱った際は、一房の寄付額が10万円にもかわらず数日で品切れ。テレビでも紹介されるなど注目を集めました。

赤い果皮色は、収穫前のブドウ畑に白いシートを敷き日光の反射

トしました。長崎幸太郎知事が直接関東・関西の主要市場を訪れて関係者に向けてアピールしています。ブドウ市場の5割超を緑色のシャインマスカットが占める中、赤色のサンシャインレッドが加わります。並べて箱詰めすれば見栄えが良く、購買意欲の向上が期待できます。

さらに、**県では新たな黒系ブドウの開発も進めています。** 将来は緑・赤・黒3色の皮ごと食べられるブドウが並ぶ光景が見られるかもしれません。



Sunshine Red

知事の長崎幸太郎です。県産桃・ブドウの新しい楽しみ方をTikTokで紹介しています！



魅力再発見！

名水が磨く

米・茶・牛肉

温暖化に強い「にじのきらめき」

温暖化の影響で全国的に米の品質が低下する中、農研機構が開発した新品種のお米「にじのきらめき」。山梨県では2019（平成31）年度から試験栽培が始まり、22（令和4）年度に奨励品種に選ばれました。**食味は「コシヒカリ」と同等以上という評価が出ています。**猛暑となった23年、にじのきらめきは1等米の割合が90%という高い数値を記録しました。これは全国平均60%、山梨県平均71%と比較しても、群を抜いた品質の高さです。

などを購入する際に、県と市町村が合わせて2分の1を補助します。にじのきらめきは、ミシユラン三つ星を獲得した経歴を持つシェフの江崎新太郎さんからも高い評価を得ました。県内の旅館と連携して宿泊客に味わってもらおう企画も予定しています。

県はにじのきらめきの栽培促進のため、農業機械・施設導入費用の補助制度を新設しています。生産者団体などが**コンバインや乾燥機**



サンニチ印刷提供

Strong!!

生産者同士で技術を磨く「甲州牛」

1989（平成元）年に甲州牛研究会が発足し、長い年月をかけてブランド化が進められてきた甲州牛。黒毛和種の中でも、肉質等級が4や5ランクに格付けされた牛肉だけが「甲州牛」の称号を得られます。**やわらかい肉質、鮮や**

かな肉色、豊かな風味の舌ざわりが特徴です。

現在、甲州牛の年間生産頭数は580頭で、会員数は30名です。県は生産者で組織する「甲州牛・甲州ワインビープ推進協議会」と連携し、生産技術の向上や流通量の安定化に取り組んでいます。

会員がスクラムを組み、生産技術を高め合うことで、認定率は年々向上。肥育農家の数は減少傾向でしたが、生産者全体の牛の数は増加しています。現在では出荷頭数の約90%が甲州牛に認定されるようになりました。

県は、こうしたブランド農産物の生産技術を支援することで、農業者の所得向上と地域経済の活性化を目指しています。南アルプスなどを源流とする名水が育む山梨県の味覚をこの機会に再発見してみたいかがでしょうか。



Tender!!

低温抽出で目覚める

「南部茶」の神髄

南部茶はすっきりとした味わいで、さまざまな料理や食材とよく合います。しかしその魅力を引き出すには、ちょっとしたコツがあるのをご存じですか？

一般的な深蒸し茶は高温のお湯でサツと淹れても飲みが出にくい。ため、比較的簡単に淹れられます。しかし、深蒸し茶よりも蒸し時間の短い南部茶を同じように淹れると飲みが強く出てしまい、本来の持ち味である爽やかな香りと甘みを十分に楽しむことができません。

南部茶を淹れる際は、少し低い温度のお湯（70℃が目安）で、約1分間じっくり抽出するのがポイント。そうすることで**お茶本来の旨味や甘みが引き出され、驚くほどまろやかで優しい味わいになります。**

南部茶の魅力を最大限に引き出した「プレミアムボトルティー」は、

南部茶の「プレミアムボトルティー」



Refreshing!!

南部町のふるさと納税の返礼品にもなっています。今年から、同じ茶葉を使ったお手頃なリーフティ**ーも返礼品に加わります。**ぜひ一度お試しください。

るので、きっとあなたの推し品種に出会えるはずですよ。

この秋に大注目なのは、サンシャインレッドのスイーツ。完熟するほど赤みと香りが増すという果実にフラワーコーディアル（花のシロップ）を合わせた「グラデーションパフェ」が登場しました。県外の観光客に「本物の完熟を求めるなら山梨にいくしかない」と言わせる美味しさをぜひ体験してください。

open 11:00 close 16:30 博物館の休館日は定休

Museum café Sweets lab 葡萄屋kofu OPEN!

やまなしの完熟果実を味わう博物館カフェ

「かたい桃しか食べない！」という山梨県民にこそ知ってほしい、「完熟の美味しさ」をおしえてくれるカフェがオープンしました。「Museum café Sweets lab 葡萄屋kofu」は、山梨県立博物館に併設され、「スイーツといえば山梨」というイメージ定着のため、県産果実を使ったスイーツの魅力を発信しています。

代表者である古屋浩さんのこだわりはその時食べ頃の完熟しきった果実を使うことです。生産者と協力して、通常の流通ルートでは出荷できないほど完熟した「パフェ



CHECK!

専用の果実”を使っています。

7月には季節限定で桃のパフェを提供しました。人気品種・夢桃香をはじめ、加納岩白桃、白鳳、スイートネクタリンの4種が入って1600円程度とリーズナブルなお値段。この価格で提供しているのは、気に入った味や香りを見つけてファンになってもらいたいから。果物狩りをするようにひとつのパフェのなかで産地を巡ることができ

未来の農業



追求するのはおいしさだけではありません。やまなしの農業は、地球環境に優しく、最先端テクノロジーも活用して未来に羽ばたきます。

やまなしカーボンフリー農業 実現への一歩を踏み出す

山梨県はブドウとモモ、スモモの生産量が日本一を誇ります。すでに、県内の果樹園では「4パーミル・イニシアチブ」による栽培を通じて、地球温暖化の抑制に取り組んでいます。地球の未来を見据えた環境に優しい農業へと歩みを進めるため、県は、二酸化炭素を排出しない「やまなしカーボンフリー農業モデル」の実現を目指していきます。

「カーボンフリー農業」には、再生可能エネルギーを活用します。JAや農家が太陽光で発電した電力により甲府市の米倉山電力貯蔵技術研究サイトでグリーン水素を生産、これを燃料とする「水素加温機」の開発に着手します。農

業用ハウスでの活用に向けメーカーとの共同研究に乗り出し、来年度にも実証試験に入る予定です。農業用のハウスでは重油を燃焼するのが一般的ですが、グリーン水素に置き換えることにより、ここで栽培されたブドウやモモを「カーボンフリー・フルーツ」として消費者にアピールすることを狙っています。

また、農家が自家発電した電力を利用した農機などの電動化も検討しています。そこで、県果樹試験場(山梨市)などにEV軽トラツクやEV農機を導入して作業効率や操作性を検証します。検証結果を踏まえて農家へ普及し、農業分野でのカーボンフリー化を推進します。

※4パーミル・イニシアチブ
世界の土壌の表層(30〜40cm)の炭素量を年間0.4% (4パーミル) 増加させれば、人間の経済活動によって増加する大気中の二酸化炭素(CO₂)を実質ゼロにすることができるといふ考えに基づき国際的な取り組み。県内では果樹の剪定枝を炭にして微生物などによる分解がされにくくした上で畑にまき、半永久的に炭素を土壌中に留めるなどの取り組みをしています。

※グリーン水素
再生可能エネルギーを使い、製造過程でCO₂を一切出さずにつくられた水素のこと。究極のクリーンエネルギーといわれています。

高校生が「匠の技」を体験！ スマートグラスを使った 最先端農業

北杜高校の果樹圃場に集まったのは、10人の総合学科3年生です。代わるがわる、スマートグラス(メガネ型コンピューター)をかけて、生育中のシャインマスカットを眺めています。グラス越しに房を見ると、摘粒するべき粒とその数が表示され、誰でも簡単に房の形を整えることができる仕組みです。



最先端技術を体験する北杜高校の生徒



摘粒して
スマートグラスを通じて摘粒の指示が出る(山梨大学茅野院理事の研究グループ提供)

山梨県では2020(令和2)年度から、産官学連携による「スマート農業実証プロジェクト(5G)」が行われています。この取り組みの中で、山梨県果樹試験場の研究員がシャインマスカットを摘粒する様子を「匠の技」としてAI学習させ、それを基に、作

業をサポートする技術が県内の企業や大学によって開発されました。スマートグラスのカメラで読み込んだ作業者目標の画像データは、いったん山梨大学の研究室のサーバーで情報処理されます。するとAIが学習済みの「匠の技」を基に、「この粒を摘みなさい」という指示をスマートグラスに送り

返します。これによって、熟練者と同じように作業を進めることができます。

「匠の技」を伝えるツールに

ブドウの房の形を整える摘粒などの作業には、長年の経験で培った「匠の技」が必要とされます。しかし、この技術の継承は簡単で

はなく、AI技術が大いに役立ちます。スマートグラスは価格も高く、暑さや雨に弱いため生産現場に普及させることにはハードルがありますが、今後の改良により、新規就農者らに「匠の技」を継承するツールとしての活用が期待されています。

県の担当者は、今回の体験授業について「想像以上の反応でした。『農業には夢がある』と感じてもらい、自分も将来携わりたいと思っ

てほしい」と手応えを語っています。進化を続ける技術開発に、これからも目が離せません。

農業をはじめよう

AM 9:30 甲府駅北口からバスが出発

ツアー16人のうち12人は県外から参加。20代の夫婦や50〜60代の1人参加など幅広い年齢層です。「農業は初めて」という人はもちろん、すでに経験者で「他の作物にも興味がある」という人もいます。

道中は配布されたパンフレットを読んだり、お互いに情報交換したりしながら目的地に向かいます。

AM 10:15 苗吹市境川町にあるモモ農園に到着

見学先の農園を運営する株式会社 斎庵は、モモなどの果樹園を約6・7ha、イチゴ畑を0・3ha作付けています。専務取締役の五味隆さんが実際にモモの栽培方法などを説明した後、質問タイムになりました。

「モモの年間管理スケジュールは？」という疑問を皮切りに、「どんな人が独立できるのか」「病害対策や病気対策は何をしているか」「閑散期の収入について」など、真剣な質疑応答が45分間続きます。

五味さんが「収穫時期は、毎日が猛暑との闘いです」と言うと、参加者から「年齢的に体力に自信がない」と不安の声が上がりました。そう不安をもらした女性性は50代。子育てが一段落して、「第二の人生で農業をやりたい」と東京からやってきたそうです。

「自分のできる範囲でも大丈夫。うちの会社では60代で就農した人もいます」その答えに、周りの参加者たちも胸をなで下ろします。

AM 11:00 モモの収穫体験

「ねじらず、指で押さえず、手のひらで包み込むようにもってください」とアドバイスを受け、いざやってみると――

「あれ、とれない！」「傷付けそうで怖い」

枝にしっかりとくっついたモモはそう簡単にとれません。参加者たちが悪戦苦闘してようやく一個もいどころで、「これを毎日2t収穫しています」と五味さん。実際にやってみると農業の大変さが分かります。

その後、就農7年目の若手社員からも話を聞き、見学は終了。昼休憩後、二つ目の見学場所へ向かいます。

PM 1:30 富士河口湖町のスイートコーン畑に到着

スイートコーン(3ha)とブロッコリー(0・9ha)を生産している相原雄飛さん。埼玉県から、北杜市に「地域おこし協力隊」として移住し、その後富士河口湖町に農地を得て就農7年目です。7〜9月上旬までは朝2時からスイートコーンを収穫し、10時までに出荷します。

新規就農者には果樹が人気ですが、富士北麓地域で作られる地域野菜ブランド「富士山やさい」はレストランやホテルからの注文が多く、販路拡大のチャンスがあります。

相原さんは「販路や収穫量など、悩みがあれば農協などと協力して解決できます。まずは自分がどんな農業をやりたいかしっかり考えることが大切」と言います。

PM 2:00 スイートコーンの収穫体験

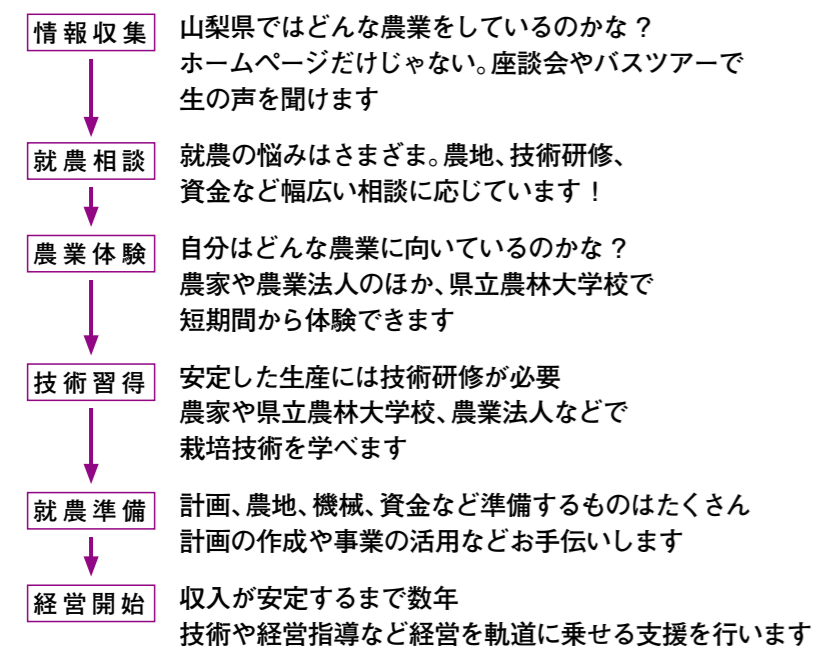
スイートコーンは樽型が美しい形。根元を持って、押し下げるようにもぎ取ります。「ひとり一本お土産にしてください」と嬉しいサプライズに、参加者たちは葉が生い茂る畑の中に分け入って姿が見えなくなります。

大きなスイートコーンを収穫できたという30代夫婦は、「都内で会社員をしています。いつか農業をしてみたい。初めての農業体験でしたが、少し夢に近づいたかな」と笑顔でバスに戻りました。

PM 4:30 甲府駅で解散

参加者の1人は「農業を仕事にするビジョンが明確になった」と感想を話していました。リアルな現場に行ってみなければ分からない、農業の苦労や情熱を実感するツアーでした。

農業をはじめる方を全力で応援します！



まずはこちらにご相談ください！

ワンストップ相談窓口
(オンライン相談も可)
県就農支援センター
TEL 055-223-5747



就農支援の詳細はこちら



農業、はじめてみようかな!?

人口減少に



立ち向かう

長崎幸太郎知事が昨年6月に、「人口減少危機突破宣言」を出して1年がたちました。県・市町村・企業・団体が結集して人口減少危機を克服するため、さまざまな取り組みをスタートさせています。

6月の補正予算で、「対策パッケージ」に具体的な事業を追加。政策の肉付けを進めています。11ページの表にある各種基礎調査を実施し、そこから見えてきた課題を体系化して整理したのが「3つの視点」です。

- ① 家庭や子を持つ希望に「よりそう」視点
- ② 子育ての希望を「かなえる」視点
- ③ 家庭や子を持つ希望を「はぐくむ」視点

それぞれのライフステージにおいて、切れ目のない支援を実現していきます。

詳しくはこちらから



「人口減少」は全国的な問題となっていますが、山梨県特有の課題はあるのでしょうか。



長崎幸太郎知事と、人口減少問題の第一人者である山崎史郎・内閣官房参与が対談し、「処方箋」について語り合いました。その一部をお伝えします。

長崎知事・山梨県では特に、若い世代が将来への確信を持ちきれないことが一番の問題なのではないかと考えています。山梨で希望が持てなければ当然、外に出ていってしまいます。

山崎参与・人口減少に歯止めをかけるには、若年世代にターゲットを絞って定着、あるいは転入の流れを作っていく必要があります。

長崎知事・山梨県では、若者が将来に希望を持って産業界を取り揃えようとしています。「豊かさ共創基盤の構築」を加速し、賃金アップによって人生設計を描いてもらいたいと考えています。

山崎参与・若年世帯、中でも「共働き世帯」が出産・子育てと仕事を両立できるようにすることがカギを握っています。地域での子育て支援や不妊治療など健康医療面の支援といった幅広いアプローチが必要になると思います。

基礎調査から見た課題

住環境調査

- 合計特殊出生率と1住宅当たりの居室数とは正の相関関係があった
- 建設費の高騰により、新築住宅を購入した子育て世帯は、中古住宅を購入した子育て世帯に比べ、約2倍の経済的負担を抱えている上、中古住宅よりも狭い住宅で子育てをしている

経済要因調査

- 住居費への負担感が大きい。未婚者・既婚者がより良い居住環境への移行に踏み切れず、結婚・出産・子育てを躊躇する傾向
- 未婚者や若年層ほど奨学金を返済中の割合が高く、負担軽減は婚姻促進・出生率上昇に寄与する可能性

結婚に対する県民意識調査

- 結婚意思のある未婚者の多くが「自然な出会い」を待っており、「友人・知人の紹介」や「勤務先などでの出会い」を希望する割合が高い
- 未婚女性が望む婚活サービスは、婚活を前面に出さない取り組みや、結婚前提ではなくライトな出会いの場を望む傾向がある

働き方改革等実態調査

- 男性の育児休業取得率は低く、「職場に迷惑をかけたくない」などの心理が働いている
- 県内企業の6割超は、男性の育児参加促進策を「特に実施していない」と回答
- 子育て世代は、他の世代よりも収入などに強い不安感を抱いており、正規雇用労働者への転換を希望する割合が高い

県内職業系高校のキャリア追跡調査

- 文系大学卒業者よりも職業系高校卒業者の方が平均年収が高い業種（製造業、建設業等）もみられた

山梨県こども計画策定に係るアンケート調査

- 「子育てのしやすさ」の観点から行政に望む支援策として、「経済的支援」「気軽に相談できる窓口」が多い

皆さんのライフステージにおける具体的な支援策を次ページ以降でご紹介します

SHIRO YAMASAKI
山崎史郎
内閣官房参与

KOTARO NAGASAKI
長崎幸太郎



対談動画はこちら▶

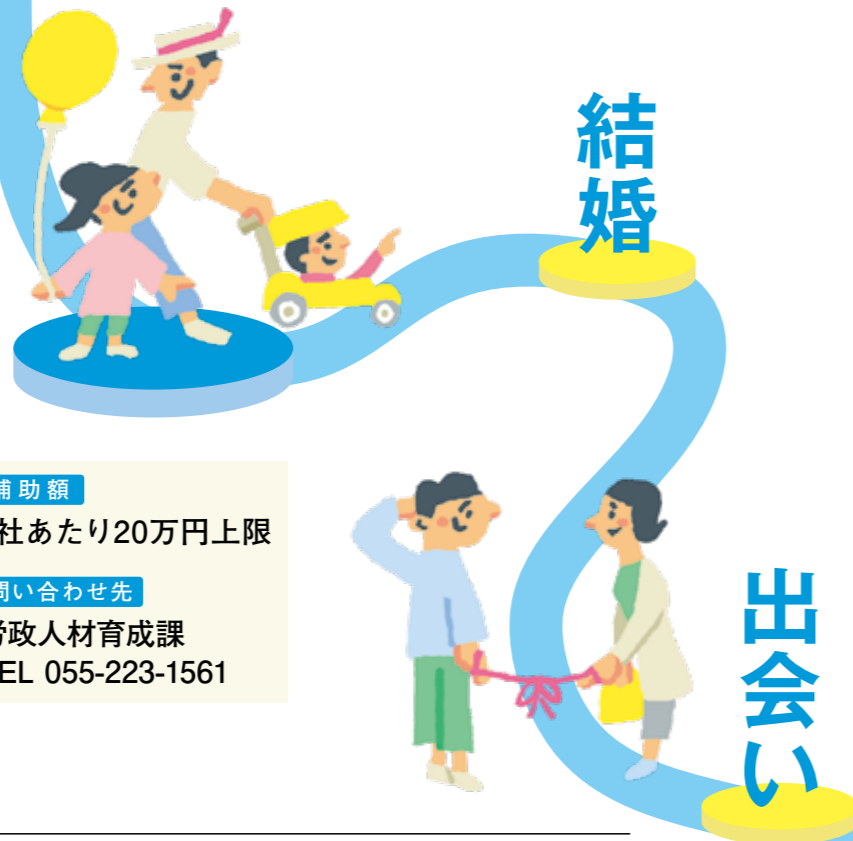
男性育休取得促進

働き方改革実態調査の結果によると、県内の男性育休取得率は22.3%と、国の目標(2025年までに50%)達成には程遠い状況です。男性の育児参加促進策について「特に実施していない」と回答した県内企業は6割を超えています。仕事と育児の両立支援に取り組む中小企業は国に助成金を申請できる仕組みですが、そもそも受給要件となっている「雇用環境整備措置」の実施が進んでいません。

そこで県は、育児休業に係る研修の実施や相談体制の整備など、「雇用環境整備措置」の実施に必要な経費を補助する事業をスタートします。

補助額
1社あたり20万円上限

問い合わせ先
労政人材育成課
TEL 055-223-1561



CHECK

「プレコン健診」スタート

将来の妊娠・出産に備えて健康管理を行うことをプレコンセプションケア(プレコン)といいます。若い世代が妊娠・出産に関する正しい知識を持ってもらえるよう、県は職域などでの健康診断とあわせた「プレコン健診」の実施を支援していきます。

若い女性たちにとって、婦人科を受診することは心理的なハードルもあり、自分の身体の状態を知る機会が少ないのが実情です。ただ、重い生理痛は日常生活に支障をきたすだけでなく、放置すると子宮内膜症などを引き起こす可能性があるため、早めの検査が必要です。

そこで県は、県内企業の職域での健康診断のオプションとして「プレコン健診」を始めました。18～39歳の女性希望者はeラーニングでプレコンセミナーを受講後、職域健診の血液検査で甲状腺機能や感染症、卵巣の予備能をみるAMHなどを調べることができます。山梨大学医学部とも連携していて、必要に応じ医師にオンラインで面談することも可能です。プレコンセミナーは男性も受講することができます。

なお、職域健診で対応できない方、専業主婦や個人事業主の方などには、協力医療機関でプレコン健診を実施します。

自分の身体を知る＝“プレコン”

8月5日と6日、県は包括連携協定を結ぶ住友生命と協力し、「プレコン啓発セミナー」を初めて開催しました。この両日は、山梨中央銀行の若手行員に対してプレコンをテーマに教育研修を実施し、2日間で約70人が研修を受けました。

受講生の男女の比率はほぼ半半ずつ。男性に関心を高めてもらうことが重要な点です。生理前にホルモンバランスが崩れると女性は心身に不調を来します。男性もそのことを知っていれば、家族や同僚、パートナーの立場になって仕



事や家庭をサポートすることができます。

男性不妊になりやすい生活習慣をクイズ形式で考えたり、実際にライフデザインシートに自分のライフプランを書き込んでキャリアアップのタイミングを検討してみたり——。参加者たちは真剣に自分の健康やライフプランと向き合っていました。

男女ともに健やかなライフプランを実現するために、プレコンを身近な存在にして、今できることから始めていきましょう。

詳しく
知りたい方は
こちらから



※一部基本健診による尿検査を含む

「希望」をかなえる 県の対策パッケージ

やまなしで生まれ、学び、働き、パートナーと出会い、子どもを生み育てる。皆さんが将来に確信を持って暮らしてもらえるよう、県ではさまざまな支援策を用意しました。人口減少危機を克服するために、きめ細かなサポートを進めていきます。

アンバサダーによる 情報発信

「等身大けどちょっと先を行く人」。県内の各分野で活躍するそんなイメージの方々を「人口減少危機対策アンバサダー」に任命します。アンバサダー自身のSNSなどで情報発信してもらう予定です。人口減少問題や県の取り組みについて当事者目線で発信してもらうことにより、関心の低かった層にアプローチします。アンバサダー主体によるイベントも開催します。

問い合わせ先
人口減少危機対策企画
グループ
TEL 055-223-1845

就職



奨学金返還支援

進学・就職を機にした若年層の県外流出が深刻です。そこで、県内中小企業の人材確保と若者の県内定着を促進し、出生率向上につなげるため、奨学金返還を支援します。

対象
卒業後、県内居住で対象の県内中小企業に一定期間勤務した者

内容
就職後8年分の奨学金返還額(借入金額の1/2または120万円を上限)

問い合わせ先
労政人材育成課
TEL 055-223-1562

学ぶ



TOPICS

目指せ男性育休100%

「人口減少危機突破宣言」(2023年6月9日)に続いて、長崎幸太郎知事は同年7月、男性職員の育休取得率向上を目指す取り組みを発表しました。その柱となるのが、「3カ月の育休取得原則化」。育休革命ともいえる新たな取り組みのスタートでした。

男性職員が配偶者の出産に伴い、有給休暇、時短勤務、テレワークを組み合わせ、最低3カ月間、在宅で育児に関わることを目指すという全国でも類を見ない取り組みです。

男性育休を「当たり前」にする

これまで男性職員からは「職場に迷惑をかける」「業務が繁忙」といった理由で、育休取得をためら

皆さんは、山梨県庁の男性職員の育休休業取得率を「存じですか?」
2021(令和3)年度は14.8%と、全国平均の40.7%を大きく下回っていました。
ところが、2023年8月以降は91%*に達しています。
いったい何が起きたのでしょうか。

男性職員の育休取得率
(山梨県庁知事部局)



う声が聞かれました。しかし、育児は夫婦で分担すべきことです。人生の最も貴重な時期に休めないのは、職員個人の責任ではなく、職員の意識や行動に大きな影響を与えている組織の問題だと山梨県は考えています。育休を取得しやすい環境づくりのために、山梨県は人事上の仕組みを導入しました。↓**図参照。**

男性職員は出産予定日の3カ月前までに、所属長と面談し、「イクメン」になるための計画を練ります。原則として、育休や在宅勤務をフレキシブルに組み合わせ、最低3カ月間在宅で育児に携わるようにするのがです。育休を取れば収入は減りますが、県が用意した収入シミュレーションシートなど

なぜ「3カ月」?

ところで育休期間が3カ月なのは、なぜでしょうか。それは1カ月では「育児の大変さ」しか実感できず、2カ月では「少し育児のことが分かってくる」段階に過ぎないからです。3カ月間、育児にじっくり向き合うことで、初めて「育児の楽しさ」を実感できるようになり、夫婦の絆、そして家族の絆がより一層深まると考えました。

こうした取り組みの結果、昨夏以降の男性職員の育休取得率は91.5%にまで上昇。2024年度は

育児休業+休暇を1カ月以上取得した職員の上司・同僚に対するインセンティブ

- ① 人事評価で加点
管理職等のマネジメントを評価し、人事評価において加点
- ② 勤勉手当を加算
業務応援を行った同僚職員に手当を加算
- ③ 時間外勤務目標時間を追加配分
業務応援により増加した業務に対して別枠配分

詳しく知りたい方は
こちらから



*2023年度の育休取得率(2024年5月末時点での取得予定を含む)

女性デジタル人材育成

対象
県内在住の女性20人

内容
オンラインによるデジタルスキルの学習プログラム(約4カ月)

問い合わせ先
労政人材育成課
TEL 055-223-1567

仕事と家庭の両立が難しく非正規雇用を選択してきた女性を対象に、キャリアアップによる正規雇用転換を支援します。DX推進人材が不足している労働市場の中で、デジタル人材を育成して活躍の場を見出してもらう取り組みです。

子育て



住宅取得

やまなしKAITEKI 住宅コンシェルジュ

子育てには、快適な居住環境が欠かせません。住環境調査の結果によると、住まいの満足度が高いと理想の子ども数を持っている傾向がみられます。そこで、子育て世代を対象に住まい選びの基礎知識や、住宅性能のほか、補助金などの支援制度について相談を受け付ける窓口を設けます。

住まいの機能・性能が良いことで家事負担が軽減され、子育てしやすい住宅になります。さらに、光熱費などのコストを抑えることも可能です。

問い合わせ先
建築住宅課
TEL 055-223-1730

中古住宅活用促進

あなたは新築派?それとも中古派?県内で持ち家に住んでいる人のうち、およそ3/4は新築住宅を選んでいますが、新築住宅を選んだ子育て世帯は、より大きな経済的負担を抱え、中古住宅よりも狭い家で子育てをしている実態が浮かび上がっています。

中古住宅もリノベーションすることで快適に暮らすことが可能です。県では、中古住宅の魅力について、YouTube動画やセミナーで広報していくことを予定しています。

問い合わせ先
住宅対策室
TEL 055-223-1731

100%を目指します。山梨県はこの取り組みが県内の市町村や企業にも広がり、地域全体での少子化対策や働き方改革が進むことを期待しています。

山梨の未来のために、男性が育休を取得しやすい環境を地域全体で協力してつくっていきましょう。

宅配ボックス 購入補助制度

県では、再配達を減らすことによって物流基盤を支え、CO₂排出削減にも貢献できるとして、市町村と一緒に宅配ボックスの購入に対して補助します。
※実施の有無や補助の内容は市町村により異なります。

申請方法 お住まいの市町村窓口を通じて申請

開始時期 市町村により異なります
(早ければ2024年10月頃から)

[補助制度の例]

補助金額 購入金額の2分の1(上限金額あり)

対象者 県内在住の個人、
集合住宅の大家や管理組合

宅配ボックスの種類

宅配ボックスには、戸建て住宅用と集合住宅用があります。



戸建て住宅用

特徴 留守でも安全で確実な荷物の受け取りが可能



集合住宅用

特徴 入居戸数に応じた複数のボックスの設置が可能

その他の再配達削減への取り組み

宅配ボックスの設置以外にも、再配達を減らすための方法があります。

- ◎置き配の活用
- ◎コンビニエンスストアでの受け取り
- ◎宅配業者の営業所での受け取り
- ◎ゆとりある配達日時指定

再配達削減で物流機能を守ろう 宅配ボックスの 購入費用を補助します

2024年4月から、トラックドライバーの時間外労働に上限規制が適用され、人手不足が生じています。自分には関係ない? いやいや、皆さんが人ごとのように行動してしまうと、ある日突然物流機能が崩壊し、欲しいモノが欲しい時に届かない、そんな事態が生じることだってあり得るのです。
この「物流の2024年問題」に対応する一つの取り組みとして、山梨県では、宅配ボックスの購入における補助金制度を作りました。

CHECK

県では、再配達削減の取り組みを紹介するチラシやYouTube動画を作成していきます。「物流の2024年問題」って何?! という方にぜひ広めてください。

詳細は
こちらから



災害に強い山梨へ 新たな強靱化計画の策定

県では、今後想定される南海トラフ地震や首都直下地震、富士山火山噴火、豪雨・豪雪等の大規模自然災害に備えるため、「山梨県強靱化計画」を改定しました(令和6年3月26日)。見直しに当たっては、能登半島地震や激甚化・頻発化する近年の災害から得られた知見を反映するとともに、国の「国土強靱化基本計画」の改定事項(令和5年7月に5年ぶりの改定)などを踏まえています。

強靱化計画は、災害時だけの対策ではなく、平時からの地域力を向上させる一面もあります。非常時には災害対策用としての機能を果たすものが地域の魅力創出にも役立ち、誰もが快適に暮らすことができる地域づくりにつながる。それが、強靱化計画です。

計画は、下図の「5本柱」を基本としています。

山梨県
強靱化計画の
詳細は
こちらから



- 広域的な幹線道路の寸断に備えたりダングランシー(多重性)を有する道路網の整備
- 電力供給体制強靱化の推進
- 自立・分散型エネルギーの導入拡大
- 小水力発電の推進



- 最先端技術を活用した情報収集・伝達体制の確立
- 消防救急デジタル無線の広域化・共同化の促進
- 河川や土砂災害等の情報システム運用
- 現場におけるドローン活用やICT施工による作業効率化

ライフラインの強靱化

デジタル等の活用による施策高度化

防災インフラの整備・管理

地域における防災力向上

官民連携強化

- 災害時に備えた民間企業等との協定締結
- 電力会社等との連携体制の強化
- 災害関連NPO、ボランティア団体等との連携・協働の促進
- 中小企業の防災・減災対策の強化促進

デジタル技術を使えば少ない人数でも多くの仕事がこなせる

渋滞の迂回路にも使える!

護岸がきれいになると散歩も快適♪



- 洪水被害を防止する河川整備の推進
- 富士山火山噴火時の避難を支援する減災対策の推進
- 土砂災害を防ぐ砂防施設整備の推進
- 農業用ため池の耐震化の推進

地域の結束力UP! 助け合いの心が育つ!

- 地域防災力の強化を支える人材育成
- 避難所管理者と自主防災組織が連携した避難所訓練の実施
- 外国人に対する防災情報の提供及び相談体制の整備
- 公立小中学校、県立学校における防災対策及び防災教育の促進

住宅の耐震診断はお済みですか?

古い木造住宅は耐震性が低い可能性があります。昭和56年5月以前に着工された木造住宅の耐震診断は無料ですので、お住まいの市町村にお問い合わせください。

「連載」

山梨 縣人

きれいな鏡に映る 自分の姿を見つめて

南アルプス市立落合小学校の教室で、澤登一浩さん(66)はペル一人の小4児童とクロスワードパズルをしていた。
「そうめんより太くて、うどんより細い麺は？」
「え、知らない……」
「パソコンで調べてみようか」

(カチカチとパソコン操作をする音)

「ひ、や、む、ぎ？」

「そう、正解！」

長年小学校の教諭だった澤登さんは、南

アルプス市内の外国籍児童15人に日本語



教室には分かりやすい日本語の例文が掲げられていた

を教えている。落合小だけでなく市内6校を巡回して授業をする。同市内の外国人向け日本語教育は教員2人でカバーしているため、澤登さんの時間割に空き時間はほとんどない。

「外国籍の子どもは、紙ベースの教材ではふりがながないので学び

を教えている。落合小だけでなく市内6校を巡回して授業をする。同市内の外国人向け日本語教育は教員2人でカバーしているため、澤登さんの時間割に空き時間はほとんどない。



「日本語教室」の授業が終わり、笑顔の澤登先生と児童

山梨県は2021年度、全国初の「小学校25人学級」を始めた。24年度には小学4年まで拡大した。少人数学級にすればクラスが増えて教員数も必要になる。全国的な教員不足の中、県教委は定年を迎えた65歳未満の教諭を再任用したり、教員免許を持つ人を任期付教員として受け入れたりして人材確保を図っている。外国人労働者の増加に伴い、日本語教育の重要性も高まっている。

HISTORY

1999 南アルプス市生まれ

1997 大学卒業後、小学校教諭に

2019 南アルプス市立若草小学校の校長(2019退職まで)

2024 再任用。
2024からは任期付教職員として南アルプス市立落合小学校などで外国籍の子どもに日本語と教科を教える

国籍に関係なく 誰もが学べる 社会にしたい

外国ルーツの子に日本語と教科を教える
澤登一浩

全国的に教員が足りない。そんな中で、65歳を過ぎてなお教壇に立つ教師がいる。未来に向け懸命に生きる県民を紹介する、連載・山梨縣人の2回目は、その男性のストーリー。彼が外国籍の子どもたちに日本語と教科を教える背景を探ると、山梨のミライが見えてくる。

が進みにくいんです。だから教えるときはパソコンも使います。授業を通じて、勉強のスタイルを教えたいと思っています」

現役時代、過疎地域の早川町で働いた。教頭として赴任した早川北小の総児童数は11人。数年で4人程度に減ると予想されていた。

この学校は、半世紀にわたって子どもたちが地域の民話を創作劇として上演し続けていた。地域と一体化した教育活動の価値を感じて、「この小学校をなくしてはいけない」と思った。地域の良さを知らせるチラシを作り、保護者や

教育委員会と東京で開かれる地域振興関連の展示会で配ったこともあった。早川北小の児童数は予想に反し、最後には18人にまで増えた。東京からの移住者が増えたことが原因だった。

「昔から、教科書を忠実に教えるより、郷土にゆかりがあるものを教材にするのが好きでした」
2019年に定年を迎え、地元で地域の仕事をしようになった。そんな矢先、先輩に「学校現場は人手不足だ。君は家に畑もないんだから、もう一度学校で教えたらどうか？」と言われ、なぜかすんなり教壇に戻ることにした。

翌20年から、フルタイムの再任用教員になった。久しぶりの学校現場は、保護者への対応、授業や行事の準備など、相変わらず大忙しだった。再任用教員だから重責を担うことはないと思っていたが、産休の教員の代わりに2年生の担任をし、校長や教頭を補佐する教務主任も務めた。言われたときは戸惑ったが、自分の経験や知識が役立てばいいと思い、引き受けた。「教師はみんな、きれいな鏡を

大学で学び直し

持った子どもたちの前に立ちます。私たちは、その鏡に映る自分の姿を見つめ、常に自分を律することができる。退職後に復帰して、その思いが一層強くなりました」
澤登さんには別の仕事も回ってきた。それが外国籍児童への日本語教育だった。軽い気持ちで引き受けたが、難しかった。教科書がないから、どんなことをどう教えたらいいのか分からず、試行錯誤の毎日だった。

そこで、22年4月、大学の通信教育制度を使い、日本語教員養成課程に入学した。
「大学で学んだ前と後で授業内容はさほど変わっていません。でも、外国の人が理解しやすい日本語文法や、『ら行』が発音しにくい語音など体系的に学びました。教える目的もはっきりしたので、授業づくりが楽しくなりました」
いま澤登さんが心配していることは、外国籍の子どもたちが進学の機会を失ってしまうのではないかとのことだ。山梨県内にはボラン

パソコンも活用して勉強のスタイルを学んでいく



ティアの日本語教室はある。だが、そこに通う子どもは少ない。

「子どもはすぐに生活言語を体得します。でも、学校での教科学習に必要な学習言語は別のものだということを多くの日本人は気付いていません。学習言語を習得しなければテストの設問を理解することもできず、よい成績をあげられないんです。今後、日本で暮らす外国人は増えていきます。習得に5〜7年かかる学習言語をしっかりと教える仕組みをつくと同時に、私たち日本人社会が外国人との共生をもっと意識していかなくてはなりませんね」

澤登さんは、この仕事を「倒れるまで続けたい」と思っている。

※国家資格「登録日本語教員」は2024年度に創設予定。

表紙のヒトたち。



受け継ぎます
やまなしの農業

しっかりと玉が張った黒色のブドウ、ブラックビートを収穫しているのは、笛吹高校果樹園芸科2年生の皆さん。8月上旬の3日間、3グループに分かれて朝から圃場に出ました。ブラックビートは藤稔とピオーネを交配した品種で、地球温暖化による高温の下でも着色が良いそうです。



やまなしの魅力は
もっともっとあるはず!

「ふれあいスクエア」では、県民の皆さんからの写真を募集しています。わが街の自慢のスポット、不思議と心躍る場所、移ろう季節を切り取った一枚……など、撮影したときのエピソードを添えて、ぜひ教えてください。また、県の取り組みについてのご質問もお待ちしています。

こちらから
どうぞ!



山梨県公式
LINEアカウント

友だち登録すると
写真を投稿できます。

📷 けい@カレー大好き



目にも麗し“発酵”カレー

食べてよし、見てよし。ハチドリヤは昨年6月に甲府市丸の内でおオープンして以来、昼は麺カレー、夜はスパイス酒場としてファンを量産中。疲れた体を食から癒やして



推しカフェ

河口湖の湖畔にたたずむCISCO COFFEE(シスコ コーヒー)。アメリカ西海岸を彷彿とさせる店内から見える景色も美しい。丁寧にハンドドリップされた一杯とおいしいケーキで一息



📷 かりん

📷 K野



夏の思い出

8月7日に開催された神明の花火。夜空にきらめく大輪の花に上がる歓声……また来年!



📷 小林孝臣



📷 mk

鉄道王の邸宅へ

「鉄道王」と呼ばれた初代根津嘉一郎の実家「根津家」の邸宅を保存する山梨市の根津記念館。秋は大きなイチョウなどが建物をより趣き深く彩ります。右の写真は、山梨市の万力公園にある嘉一郎の銅像



📷 houdoukun

隠れた絶景

南アルプス市の中白根山から北岳を望むスポットはハイキングにぴったり。これからの季節は秋の装いに衣替え。移りゆく山々の姿は一見の価値あり

MUREAI
F U R E A I
S Q U A R E

ふれあい
スクエア



PHOTO SPACE

あなたが撮った写真を「ふれあい」に掲載しませんか? 皆さんのとっておきの1枚、お待ちしております!

昭和にタイムスリップ

いわずとした甲府の街中にある、オリンピック通り。昭和レトロな雰囲気が満載な横丁はさまざまな飲み屋が立ち並び、昭和レトロな雰囲気にどっぷり浸かって寄り道を



Q & A
SPACE

皆さんから寄せられた県政に関する疑問・質問にお答えするこのコーナー。今号の質問は、こちらです。

Q 県庁でスケボーができるって本当(マジ)ですか?

はい。中庭でプレイすることができます。



お答えします
スポーツ振興課 主任
角田 祐樹

Q なぜ県庁の中庭を開放したのですか?

スケートボード人気が高まり、甲府駅前でもスケボーを楽しむ人たちが増えていました。ただ、歩道で滑るのは危険です。スケボーで遊ぶ若者からは、「滑れる場所が少ない」という声が上がっていました。

そんな声を受け、県庁の中庭を開放するアイデアが生まれ、6月22日に県庁本館前の噴水エリアにスケートボード場(プレイエリア)をオープンさせました。県庁の敷地をスケートボード場にするというのは全国でも初めてです。



県庁中庭で技を決めるスケートボーダー

Q 誰でも使うことができますか?

県内外を問わず、誰でも利用できます。年齢制限もありません。毎月第2、第4土曜日の10時~17時にプレイエリアを設けます。安全コーンと簡易ネットなどで区切られるため、噴水エリアでくつろぐ方の安全にも配慮しています。



キックオフイベントでスケボーを体験するキッズ

Q 使用料はかかりますか?

無料です。事前登録や入場に当たって氏名の記入も必要なく、入退場は自由です。ジャンプ台などの設備も無料で使えます。ただし、スケートボードやプロテクターの貸し出しは行っていません。利用者が準備する必要があります。ケガやトラブルについては原則として自己責任になりますので、安全第一でお願いします。

01 アート

日本最高峰の作品
富士五湖地域に集合
県内初の展覧会開催

日 本最大級の美術展を開催する日展の会員による展覧会「アートシティ富士五湖プロジェクト一日展の美」が、河口湖美術館（富士河口湖町）で7月から3カ月にわたり開催されました。

このイベントは、県と富士河口湖町、そして日展が、富士五湖地域を国際的なアートシティとすることを目指した取り組みの一つです。自然豊かなリゾート地と首都圏機能が融合した先進的領域「自然首都圏」へと発展させる組織「富士五湖自然首都圏フォーラム」（本部：山梨県）の活動の一環として、初めて開催されました。

展覧会では、日本画や洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門の作品が約100点展示されました。期間中には、子どもが本格的な日本画に挑戦するワークショップも開かれました。

日展の会員になるのは芸術家でも狭き門とされています。その会員らによる最高峰の作品を間近で鑑賞できる貴重な機会となりました。

県では、富士五湖地域を、芸術家が交流して次々と作品が生み出されるような魅力と価値のあるアートの中心地としていきます。



オープニングセレモニーでテープカットする長崎知事（左から2人目）と出席者

02 先端技術

新事業への挑戦
無人店舗オープン
人手不足解消にも一石

今 年7月、レジを通らずに買い物ができる無人店舗が、まるごとやまなし館（県防災新館1階）内にオープンしました。営業は午前9時から午後9時までで、年中無休です。

事前にスマートフォンアプリにクレジットカード情報を登録しておき、店内で商品を手に取って店を出ると、自動で支払いが完了します。

店内18個のカメラと商品棚の重量センサーが人と商品の動きを捉え、人工知能（AI）が商品の購入を認識する仕組みとなっています。

この店舗は、県が推進する、企業が外部のアイデアや技術を取り入れることで新しい製品やサービスを創出する取り組み「オープンイノベーション」の一環として生まれました。県内を拠点にサービス業を展開する株式会社アルプス（昭和町）が運営し、新興企業（スタートアップ）のCloudpick Japan 株式会社（東京都中央区）が持つAIによる画像認識技術が活用されており、人手不足の解消にも役立つと期待されています。

県では、今後も県内企業が持つリソースとスタートアップが持つ独自技術をつなげ、新事業への挑戦を支援していきます。



入店時はスマートフォンアプリに表示されたコードをかざす



商品を取って退店すれば、購入履歴はアプリで確認できる

03 魅力発信

果実のトップセールス
東京と京都で

大田市場でモモを配布する長崎知事ら



県 と県農畜産物販売強化対策協議会（中澤昭会長）は、7月に東京都中央卸売市場・大田市場（東京都）、8月に京都市中央卸売市場（京都府）で、県産のモモとブドウをPRするトップセールスを行いました。長崎知事や中澤会長らが市場関係者に手渡ししました。

長崎知事は大田市場のトップセールスで「山梨県の果実は匠の技によりつくられた芸術品。お客様に手に取って喜びを感じ、召し上がって幸せを感じていただきたい」と、県産果実の消費拡大を呼びかけました。

トップセールスは、毎年果実の旬の時期に合わせて、県内JAグループと県で組織する協議会が連携して開催しています。県では今後も、県産農畜水産物などの魅力を積極的に発信し、やまなしのブランド価値向上を図っていきます。

通信販売での「定期購入」トラブルに注意



低価格を強調する広告を見て、お試しのつもりで注文したら「定期購入」が条件になっていたなど、通信販売のトラブルが発生しています。

注文前に契約内容をよく確認しましょう。

- 定期購入が条件になっていませんか？
- 継続期間や購入回数が決まっていますか？
- 支払総額はいくらですか？
- 解約の際の連絡手段を確認しましたか？
- 返品特約や解約条件を確認しましたか？
- 利用規約の内容を確認しましたか？

※インターネット通販では「最終確認画面」で契約内容を確認しスクリーンショットしたり印刷したりして保存しておきましょう。

困ったら下記にご相談ください。

山梨県県民生活センター

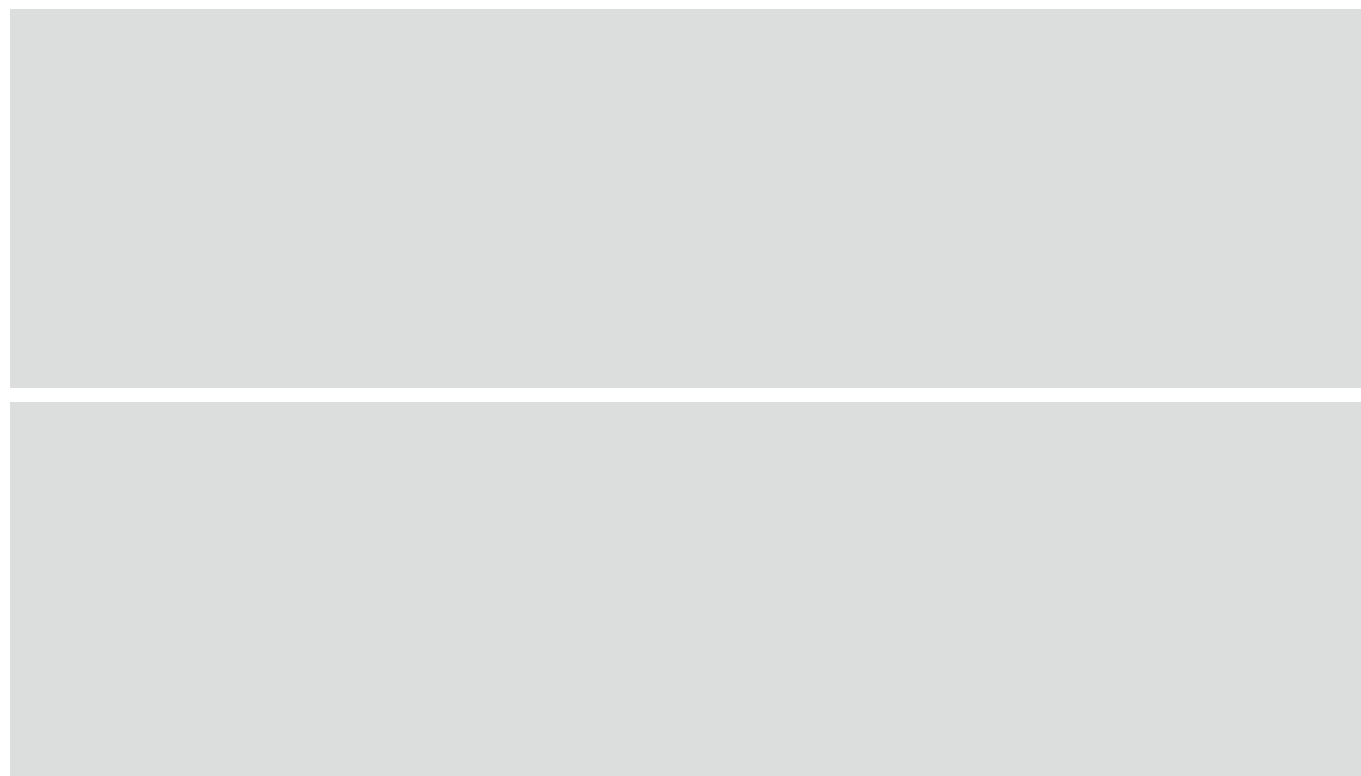
☎ 055-235-8455

消費者ホットライン

☎ 188（いやや）※全国共通

（最寄りの市町村や県の消費生活相談窓口をご案内します）

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。





おいしい未来へ
やまなし



素材にこだわった
米粉むしパン
(4個セット)

商品提供: ワインとむしパン月晴れる(ドメーヌ・ヒデ)
※冷凍でお届けします。
※配送商品の種類が上記画像と異なる場合があります。

ふれあいは
英語と中国語でも
読めます。

FUREAI is also available in
English and Chinese.
FUREAI 还有英文和中文版。



県政情報発信中



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

読者プレゼント

抽選で
3名

アンケートに
答えて応募しよう!

次の①~⑤とアンケートにご回答ください。
応募は「はがき」または「応募フォーム」でお願いします。
①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号
※応募は1人1回限り。

アンケート

問1: 今号の中で最も関心を持った内容とその理由は?
問2: 山梨の「農業」に期待することは何ですか?
※いただいたご意見の一部を紹介させていただくことがあります。

応募先

山梨県広聴広報グループ
「ふれあい読者プレゼント」係
〒400-8501 甲府市丸の内 1-6-1



応募フォームはこちら

<https://forms.office.com/r/xfS7p6p7ar>

締め切り **10月31日(木)** 当日消印有効

商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。
個人情報商品の発送のほか、県からのお知らせなどのために、
使用させていただくことがあります。

「おいしい未来へ やまなし」については、
県ホームページをご覧ください。

おいしい未来へ やまなし 検索